

大分市地域まちづくりビジョン
坂ノ市地域 まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第1号

発行：令和元年 11 月 15 日 坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様に報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行します。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を生かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、昨年7月に市長に提言されました。地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況を報告し、各取り組みの今後の進め方や課題などについて、情報共有や意見交換を行うものです。

第1回坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

■令和元年8月28日(水)13:30～
 ■坂ノ市市民センター 会議室

開会

1. 委員・事務局自己紹介
2. 会長・副会長選任
3. 会長・副会長あいさつ
4. 議事



- (1)会議の公開について
- (2)地域まちづくりビジョンについて
- (3)地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- (4)地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について
 — 質疑 及び 意見交換 —
- (5)今後の予定について

5. その他

閉会

■ビジョンに掲げる事業の取り組み状況について(抜粋)

事務局から坂ノ市地域まちづくりビジョンの概要について説明を行ないました。提言と事業概要については、裏面をご覧ください。

《提言1》 人がつながるコミュニティの創造

- さわやか健康ウォークやふるさと祭りなど、地域で多彩なイベントが実施されている。丹生校区および小佐井校区には「まちづくり協議会」が既に設立され、活動が軌道にのっている。
- 坂ノ市地区には日吉原緑地内運動施設がありスポーツ施設は充実している。自治会内に公園が無い場合には、「大分市子供広場設置補助金交付制度」を利用することができる。
- 市議会市民意見交換会が毎年実施されている。自治会掲示板などを活用して、市からの情報が発信されている。
- 「子ども食堂」等の子どもの居場所づくりのために、経費の一部補助等を行う。

《提言2》 安全・安心なまちづくり

- 通学路にある危険箇所は、自治会の要望を受けて改良を随時行っている。また、児童・生徒に対して、地域が活発な通学指導を実施している。
- 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」に基づき、道路に自転車誘導サイン等の設置を進めている。
- 「大分市ふれあい交通運行事業」では「一本ルート」と「屋山ルート」を加え、坂ノ市地区内すべて合わせて5つのルートを運行中である。
- 小佐井小学校は、『大分市教育施設整備保全計画』に従って適宜適切な改修を進めている。
- 小佐井小学校周辺整備に関しては、県土木事務所が道路拡幅のため『県道坂ノ市中戸次線』のTOTO正門前から旭化成旧正門前までの間について測量を始めている。なお、地元との協議が進む中で、安全確保のために信号機設置や水路を暗渠にする計画が立案されている。

《提言3》 地域資源の活用

- 郷土史愛好会による歴史資源に関する学習会が開催されている。
- 丹生校区がビジョン推進プロジェクトを発足させ、提言後1年間は地域住民にビジョンの周知を行った。
- 坂ノ市公民館をはじめとした地区公民館は、「教育施設整備保全計画」により計画的に整備を行う予定である。また、その際には必要に応じて周辺公共施設の機能集約と複合化を検討することとしている。

本閲覧物は、大分市ホームページにも掲載しています。

■意見交換の内容(抜粋)

《人がつながるコミュニティの創造》に関する委員の意見等

- 小佐井校区の3世代交流事業には、盆踊り、さわやか健康ウォーキング、小学校PTAを中心に行っているふれあいの集い、お祭り、そして、グラウンドゴルフ大会がある。小さな規模では、オセロ大会、歌声喫茶を実施している。
- 丹生校区の3世代交流事業には、今年で10回目になる『ふれあいふるさと祭り』がある。

- 小佐井校区には遊び場が無く道路で遊ぶ子どもが多いので、『旭化成』隣地にある広い沼地を公園にしてほしい。

- 自治委員は様々な役割をこなしている。大雨が降れば防災に心を砕き、校区会長ともなれば15のあて職を務めなければならない。さらに、行政から通知される文書は膨大である。ここを改善しない限り、雑務と動員に忙殺されて自治区の課題をじっくりと考える時間さえ無いのが実情である。
- 丹生校区および小佐井校区で『まちづくり協議会』ができていますので、坂ノ市校区ができないわけではないと思うが、現在のところは設立の計画がない。そこが、悩ましいところである。



- 『萬弘寺の市』が毎年1週間、萬弘寺広場で開催されている。その度に、大きなテントを設置している。設置には、何百万円かが必要なので、できればであるが、テントを常設にしてほしい。
- 児童公園の一部に屋根をつけてほしい。



- 萬弘寺広場の朝市に、商工会議所の人たちを巻き込めば、実施する可能性が高まると思う。
- 萬弘寺広場で大イベントを実施するのなら、駐車場問題についても案じる必要があるのではないだろうか。

- キャンプとか、特別なことや大掛かりなことをする必要はなく、もう一度地域を見直して、子どもたちに何を与えることができるか、その辺から検討してみたらどうだろうか。身近で小さなことから行えばふれあいが生まれ、子どもの生きる力に繋がると考える。

《安全・安心なまちづくり》に関する委員の意見等

- 小佐井郵便局から同小学校交差点まで、県からガードパイプを設置していただいた。また、路面上には「自転車誘導サイン」も描いていただいた。
- 小佐井小学校は耐震改修工事をしているが、新しい学校の建設について検討してほしい。
 (市からの回答) 計画的に改修・修繕を行ない施設の長寿命化を図りながら『大分市教育施設整備保全計画』に沿って安全を最優先に整備に努めます。



《地域資源の活用》に関する委員の意見等

- 丹生温泉プロジェクトの事業成立までには、時間がかかる。まず、昨年1年間は丹生校区住民に向けて、周知することに全力投球した。引き続き、施設の活用促進に向け地域で協議を進めていく。
- 『TOTO』所有のグラウンドに関しては、週3回で屋山自治区がグラウンドゴルフで使っている。坂ノ市地区在住の方なら、グラウンドをお貸しできる。体育協会主催の『マラソン大会』でも、使用されているようだ。

■お知らせ■～その1～

「ふれあい市長室」【坂ノ市地域】の開催について

日時：12月19日(木) 18時30分から 場所：坂ノ市市民センター

市長が坂ノ市にお伺いし、直接、地域の皆さんと意見交換を行う「ふれあい市長室」を開催します。今回は、フォローアップ会議の内容も報告し、坂ノ市地域のまちづくりについて幅広くご意見をお聴きします。

<お問い合わせ先> 大分市市民部 坂ノ市支所 TEL：592-1700

裏面につづく

坂ノ市地域まちづくりビジョン【提言】

《提言1》 人がつながるコミュニティの創造

坂ノ市地域は、住民同士の関係が密であり、萬弘寺の市など様々な行事を通じた住民交流、子どもや高齢者の見守り体制が構築されている。

このような体制を維持していくためには、次世代を担う若者を交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取り組みが必要である。



坂ノ市小学校鼓笛隊（萬弘寺の市）

《提言2》 安全・安心なまちづくり

地震や津波、古いため池など、様々な自然の脅威に対応するための基盤整備はもとより、未来を担う子どもたちや高齢者の安全を確保するため、道路整備や施設整備の促進、支援を望む。



自転車誘導サイン（小佐井郵便局前）

《提言3》 地域資源の活用

坂ノ市地域は豊かな自然に囲まれて、丹生温泉、佐野植物公園、そして亀塚古墳などの観光資源や、市外の方々も楽しめる地域伝統行事などが多くある。

これら地域資源をより有効に活用するための取り組みが必要である。



国指定史跡（亀塚古墳）

『提言に基づく事業名と事業概要』

番号	事業名	事業概要
1	3世代が交流できる事業	・丹生地区では地域づくりの行事が盛んだが、高齢者が中心で進めているので若者や子どもにもっと地域に積極的に関わってもらいたい。
2	公園（広場）をつくりたい	・廃止したため池用の土地（2100坪）があるので、スポーツができる広場として活用したい。
3	住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり	・住民の要望が行政にうまく伝わっていない。 ・住民と市議会・行政が、定期的にコミュニケーションをとる場を作り、予算面などを含めお互い納得できるよう話し合いを行う。
4	萬弘寺広場で朝市等の開催（地域の野菜販売等）	・萬弘寺の広場が活用されていない。（1年で1週間だけ） ・定期的に朝市などを開催することで、住民の交流や地域活性化につながる。
5	子どもの生きる力を養う事業（キャンプ、宿泊合宿など）	・地域の公民館などで合宿を行い、集団での生活や学習の機会をつくる。 ・しつけ（他人から）の場が必要である。
6	子どもへの福祉事業	・夜一人で家に居ないといけな子どもなどを預ける場所や、「子ども食堂」のようなものが必要である。
7	子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進	・小佐井小学校周辺の道路は朝夕交通量が多く歩道も狭いため、通学中の子どもが危険にさらされている。 ・道路の拡幅は難しい。 ・国道197号バイパスを早くつなげる。 ・高齢者が安心して自転車に乗られる道路が必要である。 ・「ふれあい交通」などの交通網を充実させる。
8	小佐井小学校および周辺整備事業	・小佐井小学校は老朽化していて危険である。 ・小佐井小学校周辺の通学路も整備の必要がある。
9	坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施	・各校区の歴史を調査し、意見交換したり、地域の史跡を歩いて回るイベントを実施したりする。⇒健康づくりにもつながる。
10	坂ノ市の個店を住民に知ってもらうマップを作り、地元消費の喚起につなげる	・区画整理事業終了後、地域に商店街が無くなった。 ・坂ノ市広域の商店街マップをつくり（商工青年部のお店や会社を掲載して）、住民がどこに何があるか把握できるようにする。
11	地域の拠り所となる丹生温泉の活用促進	・丹生温泉に3世代が交流できる施設や広場を整備する。 ・アスリートを養成するアスリートセンターの建設。 ・丹生温泉を活用して大分市民のいこいの家を造る。
12	地域交流のできる総合的な施設の充実	・図書館は『地区公民館』、子どもルームは『坂ノ市市民センター』などと施設が分散しており、総合的な施設が充実していない。小さくても、全てのことか1カ所のできる施設があれば、地域の自慢にもなる。 ・地域の企業に福利厚生施設（プール等）の開放をお願いする。 ・坂ノ市地区公民館が老朽化しており、安全面で不安。 ・コミュニティセンターや児童館などの役割をもたせられるように改修する。

■お知らせ■～その2～

「地域まちづくりビジョン シンポジウム」の開催について

日時：11月23日（土）13時30分から 場所：コンパルホール 3階 多目的ホール

昨年7月に市内13地域で策定された「地域まちづくりビジョン」の実現に向け、子育て世代や若者が中心となって、それぞれの地域でまちづくりに取り組んでいただくため、シンポジウムを開催します。